

つるとみ さんしゅう 鶴富の山椒の庭に鈴掛けて  
おうせ こま 逢瀬の駒と呼ぶ言の伝  
こと つて

令和六年八月一日

大中臣正比呂



早朝、雄の木と並び実を結んだ山椒さんしゅうの木を発見した。稗搗節ひえつきぶしを思い出す。

庭さんしゅうの山椒の木に鳴る鈴かけてヨーオーホイ

鈴の鳴るときや 出ておじゃれヨー

鈴の鳴るときや なんと出て出ましょ ヨーオーホイ

駒こまに水くりよと云うて出ましょ ヨー